お盆の成人式
にぎやかにダベリングで

去る八月十五日、新しい小学校の体育館で成人式を行いました。

今年の成人者は百五十人ですが、そのうち百名近くの人が参加してくれました。

式は例年のとおり実施し、まず、横越村公民館館長角田さんの開会式の言葉にはじまり国家斉唱館長式辞そして来賓の祝辞です。

これは村長、村教育委員長田中隆さん、村議会議長原清衛さん、村選挙管理委員長小林広次さんの四名にお願いし、そのほかの来賓の方は成人者に紹介するだけにとどめました。

その後成人者、十二名から成人になった所感発表をしてもらいました。とても印象に残ったものがいくつもありました。

それら主なものを拾ってみますと、

★ある看護学生…患者に接している時、患者は常に「生と死」を非常に身近に感じている。健康の人にさえも自分の考えをじゅうぶん伝えることができないのにこれらの人といっしょにいる時ほんとにどうすればよいのかと考えさせられてしまう。

★ある保母さん…はじめて保母をやり、保育園へ入った時〃先生!!〃という子供達が元気に呼ぶ声を聞き又きれいな瞳をみていると保母とはとても大切なんだなあ、すばらしいもんだなあと思った。これからは豊かな心を持ちつづけていきたい。

★銀行に務め夜は短大の学生…家が駅からとても離れている。夜や雨の日家族の人が送り迎えをしてくれる。家族の協力が今になってとてもありがたいと思っている。

★大学生（男）…宮本武蔵が虎の入ったおりの前でこの虎を一刀のもとに切りたおしてみたいと思った。その時たくあん和尚が来てそのおりをあけ虎のところへいった虎は猫のようにのどをならし横になった。和尚もその虎を枕にねてしまった。自分は武蔵のような人になるのか、たくあん和尚のような人になればいいのか、結論は永久にでないだろう。

★農業をやっている男性…成人式をむかえとうとう成人になったかという感じ、けれども此頃テレビドラマ等を見ていると涙っぽくなって来たようだ……。

所感発表終了後、しあわせの歌合唱、記念撮影をやり、アトラクションとしてエレキバンド「ハイロード」（ドラムを沢海の別所春義さんがたたいている）の演奏を聞きながら、ダベリング（話合い）で日程を終了しました。

少年教室
胎内平で野外研修!!

公民館で毎月開催している少年教室。八月の学習は会場を北蒲黒川村胎内平キャンプ場に移し、八月八日、九日の一泊二日の研修を行なった。

初日は晴天に恵まれ、以前植樹祭のあったところをハイキング。夕食にはカレーライスを作り、夜のキャンプファイヤーでは楽しい思い出のページをつくった。

第二日目は雨にたたられ、雨で濡れた薪をたきつけるのに苦労していた。

参加者の小学生は十八名、村体育指導員、青年団も加わり、参加者のほとんどがテントで泊った事がなく、楽しく有意義な研修を行なった。

文化団体紹介　③
読書サークル『あすなろ』

あすなろは明日は檜になろうとの願望に依って名付けられたと聞きました。

サークル組織の動機は読みっぱなしにしない。読後ノートをとることが困難なので大勢で話し合ってみようと、昭和三十五年発会以来実に十七年間続いている訳です。

私が途中入会させていたゞきました時は先輩の皆様はすでに百六冊の主題読書と読みこなして居られたのでした。

原則として月一回の例会を持ち、話し合うこの会がこんなに長く続くのは、毎月のテキストと大勢の作品にわたるよう大衆向きで、しかもレベルを低くしないよう、あまり高価でないものをと、選ばれる指導者の先生の御苦労と集会の場所提供の関根さん御一家の好意的な態度に大きな原因があると考えられます。会員の職業は様々ですが、お互いに読後感想外にも話題は豊富です。

新潟県ブッククラブに加入過去三回自分たちのサークルについて発表しました。

お正月、お盆は軽い宴会を開いて親睦をはかります。

この一日から新しい若い会員長瀬イト子、坂上トシイ、大竹ミヨ子の三氏を迎え、ますますたのしい会となりそうです。今後の課題として何か書きとめる活動もほしいなどと考えてます。

（問合せ　木津　坪谷フク迄）

田村泰一さん（藤山連青役員）
オーストラリア、ニュージーランドへ

このたび、横越村連合青年団役員、田村泰一さん（写真、二十四才）が、新潟県青年海外研修団員（主催県民生部）の一員として、十月十九日から三〇日までオーストラリア、ニュージーランドを訪問することになりました。

この訪問の目的は、両国の産業、文化、経済、社会福祉、青少年ボランテイア活動の実態を研修し、訪問国の青年の交歓を通じ、国際的見識をもったリーダーを育てようとするものです。

今回は二十五人（内、女子十名）がさんかします。

こんかいの訪問に望んで田村さんは次のような抱負を語ってくれました。

両国は非常に社会福祉の発達した国です。私は、社会福祉班、青少年活動班、農産牧畜班に分れて研修するのですが、出来るだけ多く吸収し、報告し、実際に生かしたいと考えています。

特に身体障害者の施設をよく見て来て、この中蒲原郡のミニコロニー施設を造る際に、両国の事情を伝えて設立に役立てたいと思っています。

又、横越村連合青年団員の人達にも海外に対する目を養ってもらい、世界的認識を高めてもらって、何か一つでも目標が出来れば幸いだと思っています。

少年野球、武道練習等
スポーツに熱を入れる木津分館

少年野球は八月二十二日に実施、当日は分館役員、野球クラブ員で除草清掃を行いました。さっそく木津、二本木の五チームで抽選し、残暑の厳しいグランドで熱戦を展開した。

たまたま決勝戦を行っている最中に横小遠藤校長、佐々木教務主任が観戦にこられ子供達はいっそう元気づいた。

尚成績は次のとおりです。

優勝　二本木Aチーム
二位　木津中チーム
三位　木津上チーム

試合終了後、宇野分館長よりカップ、参加賞がおくられ大会を終了しました。

木津分館で毎週土曜日に実施してきた少年武道練習も夏休み入り八月五日より土用稽古、九日を納会とし、多数の父兄が参観するもとで日頃の腕前を披露した。剣道の審判は佐藤藤男六段、佐藤登志昭二段、柔道は佐藤栄太郎四段、銃剣道は塚原宏七段、石井荷一郎七段で行われ、模範試合等もあり盛会のうちに終了した。

剣道団体戦　優勝　紅組
柔道団体戦　優勝　白組

個人戦は
剣道一位　遠藤雅彦君
　二位　谷内田隆君
　三位　難波　忍君
　三位　遠藤一茂君
柔道一位　入山昭彦君
　二位　飛松栄治君
　三位　佐藤一昭君
　三位　石井和明君

銃剣道
一位　遠藤雅彦君
二位　原　豊君
三位　谷井一弘君
三位　塩井　勝君

の成績で試合終了後、木津二本木地域育成会長佐藤悍氏よりカップ、トロフエ、参加賞等の数々の賞品がおくられた。

納会終了後、指導の先生方を囲んで父兄の懇談会が開かれ有意義な一日をすごした。

横越村高校生父兄連合会結成へ

七月二十三日、横越小学校で開催された横越村高校生父兄懇談会で、同高校生父兄連合会を結成して、生徒の健全育成につとめるよう決議された。

その決議に基き横越村から通学する高校二十四校の代表者が集って準備委員会を開催協議の結果、各地区における指導がその重点になるのではないかということで、旧学区毎に地区から代表の方から出て頂き、更に村全体の組織をつくることゝし、現在その手続きが進められている。

前懇談会で指摘されたように横越村高校生の非行、問題行動は決して少ないとはいわれない。これらの問題を解決し、生徒の健全育成をはかるために同父兄連合会の結成は大きな期待をもたれている。

新しい文化財のおしらせ
焼山七面様

古くから伝えられている焼山、蝸牛様とつつが虫と因縁の深い沢海、七面様について村の史蹟として紹介板を立てることになりました。この度蝸牛様についてその由来を紹介します。

蝸牛（かたつむり）さま

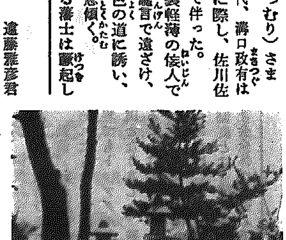
沢海城主三代、溝口政有は養子で、入部に際し、佐川佐内を付人として伴った。

佐内は、表裏軽薄の佞人で数ある忠臣を讒言で遠ざけ、政有を遊惰酒色の道に誘い、そのため藩勢忽傾く。

前途を憂うる藩士は蹶起して佐内を襲い、捕えて処刑した。

死に臨んだ佐内はこの恨み無数の蝸牛（かたつむり）となって、後々領内の農作物に祟らんと呪詛せり。

村人は佐内の怨霊の祟りを恐れ、蝸牛神社を建立して神に守護を求めた。



庭園案内

当主（鐘太氏）の祖父が亡くなって丁度今年は五十回忌、そのときすでに現在の庭はあったというから、当主の生前からのものでかなり古く、樹令からも古色蒼然の感じがある。代々庭にはあまり金をかけず以前からあった樹木が大事に手入れされている。

第9回　俳句作品公募
～初心者大歓迎～

①公募句題（通じて六句）
○秋の雨（秋雨、秋霖）
○秋刀魚（秋光魚、青串魚）
○コスモス
②〆切、十月三十日
③選者
桑野蜂松、神林深雪
坂爪句峰、須藤雷笠
坪谷耕雨、佐藤志残
今井秀虹、田中都郎

第八回　俳句公募成績

総合
○一位　今井　南邑
○二位　今井　夫子
○三位　坪谷　耕雨

高点句
○一位　今井　夫子
風鈴を掛けて引越し終りけり
○二位　佐藤やすい
堰越ゆる水光り落つ日の盛り
○三位　阿部幸暁峰
干し草の乾く匂ひや日の盛り

―村民大運動会開催―

期日	10月10日（体育の日）
会場	横越中学校グランド
主催	横越村、村連合青年団 村連合婦人会、村体育協会 横越村公民館
出場申込	青年団、婦人会、各分館